

ことわざ

月 日

点

ことわざの意味を、上の□のア～エからえらんで書きましょう。

- ア がまん強くつづけければ、いつか うまくいく ということ。
 イ 急ぐときほど、遠回りでもたしかなやり方がよい ということ。
 ウ 遠回りで、ききめがうすい ということ。
 エ ねうちがわからない人には、やくに立たない ということ。

① 二階から目薬

② 石の上にも三年

③ ねこにこばん

④ 急がば回れ

- ア 見た目より、やくに立つものをえらぶ ということ。
 イ 何度しっばいしても、立ち上がる ということ。
 ウ 三度目には、うまくいく ということ。
 エ よくたしかめてから、ものごとを行う ということ。

⑤ 石橋をたたいて
わたる

⑥ 三度目の正直

⑦ 花よりだんご

⑧ 七転び八起き

ことわざの意味がわからないときは、一つ一つの言葉の意味から考えてみましょう。

ことわざ

こたえ

ことわざの意味を、上の□のア～エからえらんで書きましょう。

- ア がまん強くつづけければ、いつか うまくいく ということ。
イ 急ぐときほど、遠回りでもたしかなやり方がよい ということ。
ウ 遠回りで、ききめがうすい ということ。
エ ねうちがわからない人には、やくに立たない ということ。

① 二階から目薬

ウ

② 石の上にも三年

ア

③ ねこにこばん

エ

④ 急がば回れ

イ

- ア 見た目より、やくに立つものをえらぶ ということ。
イ 何度しっばいしても、立ち上がる ということ。
ウ 三度目には、うまくいく ということ。
エ よくたしかめてから、ものごとを行う ということ。

⑤ 石橋をたたいて
わたる

エ

⑥ 三度目の正直

ウ

⑦ 花よりだんご

ア

⑧ 七転び八起き

イ

ことわざの意味がわからないときは、一つ一つの言葉の意味から考えてみましょう。

ことわざ

月 日

点

次の意味に合うことわざを、上の□からえらんで書きましょう。

月とすっぽん たなからぼたもち ちりもつもれば山となる
馬の耳にねんぶつ 早起きは三文のとく 犬も歩けばぼうに当たる

① 小さなものも、つもれば
大きくなること。

② 何かをすると、思いがけない
できごとに出会うこと。

③ 朝早く起きると、
よいことがあること。

④ 二つのものの、ちがいが
とても大きいこと。

⑤ いくら言い聞かせても、
まったくきき目がないこと。

⑥ 思いがけないしあわせが、
何もせずに手に入ること。

同じことわざを二度使わないように、一つずつ線で消しながら考えるとよいでしょう。

ことわざ

こたえ

次の意味に合うことわざを、上の□からえらんで書きましょう。

月とすっぽん たなからぼたもち ちりもつもれば山となる
馬の耳にねんぶつ 早起きは三文のつく 犬も歩けばぼうに当たる

- ① 小さなものも、つもれば
大きくなること。

ちりもつもれば山となる

- ② 何かをすると、思いがけない
できごとに出会うこと。

犬も歩けばぼうに当たる

- ③ 朝早く起きると、
よいことがあること。

早起きは三文のつく

- ④ 二つのものの、ちがいが
とても大きいこと。

月とすっぽん

- ⑤ いくら言い聞かせても、
まったくきき目がないこと。

馬の耳にねんぶつ

- ⑥ 思いがけないしあわせが、
何もせずに手に入ること。

たなからぼたもち

同じことわざを二度使わないように、一つずつ線で消しながら考えるとよいでしょう。

ことわざ

月 日

点

() に合う言葉を入れて、ことわざにしましょう。

① 転ばぬ先の ()

② すきこそものの () なれ

③ かえるの子は ()

④ かめのこうより () のこう

⑤ のれんに () おし

⑥ こうぼうにも筆の ()

⑦ 百聞は一見に ()

⑧ うそから出た ()

声に出して読んでみると、() に入る言葉が見つかりやすくなります。

ことわざ

こたえ

() に合う言葉を入れて、ことわざにしましょう。

① 転ばぬ先の ()

つえ

② すきこそものの () なれ

上手

③ かえるの子は ()

かえる

④ かめのこうより () のこう

年

⑤ のれんに () おし

うで

⑥ こうぼうにも筆の ()

あやまり

⑦ 百聞は一見に ()

しかず

⑧ うそから出た ()

まこと

声に出して読んでみると、() に入る言葉が見つかりやすくなります。